小学生国語　基本文法００４　指示語　練習問題　０３

次の文章を読み、あとの問に答えなさい。

劇って本当に大変だなぁ・・・イオミは心の中でつぶやいていた。

主役は立候補した三人の中から、劇の一部の場面のセリフを言うオーディションをして、クラスみんなの投票で決めた。だからきっとうまくやれるんだろうと思っていたのに、昨日も今日も劇の練習はほとんど進まない。だって、主役がセリフを覚えていないどころか、台本を見ながらでもまともに言えないのだから。

周りを見渡すと、何人かはあきれた顔をしているし、全く違うおしゃべりをしている人たちまでいる。先生が「はい、静かにね、劇のセリフの練習中だよ」なんて言っても、肝心の主役がそれをミス連発で全然言えていないものだから、劇が進まずにみんながざわざわとしてしまうのも仕方ないのかもしれない。

劇って大変だ。イオミはまたそう思った。

これがもしスポーツの試合だったら、極端な話だが練習を全くしていなくても、試合には出場できる。たとえば卓球の大会に参加するとして、最低限のルールを覚えて、試合のためのウェアやゼッケン、ラケットや靴を準備して、あとは必要な手続きをして当日に試合会場へ行けば一応試合には参加できる。そして、試合が始まり点数をどんどん取られてあっという間に一回戦負け。お辞儀と握手をして、あとは仲間の応援や、審判もする必要があるかもしれないけれど、全て終わったらそこを後にすればいい。

だけど劇はそうはいかない。練習しないで本番に出るなんてことは絶対にできない。そんなことは僕ら小学五年生じゃなくても、低学年だってわかることだ。もうこれは主役を選び直す方がいいのかも。

そんなことを思っていた時だった。

「あのう・・・このままじゃ進まないし間に合わないかもしれないから、こういうのはどうですか。明日までに主役がセリフをスラスラと言えなければ、主役を交代。もう一度みんなで選ぶってことでもいいんじゃないですか」

という、ロントウの声がクラス内に響いた。これにクラスのほとんどがうなづいている。イオミもロントウのその案には賛成だったが、主役のゴブダイは今にも泣きそうな顔をしていた。

（縞井　一樹「ねむとクロの森」より）

問1　それ　が指し示す内容を本文から四文字で書き抜きなさい。

問2　そこ　が指し示す内容を本文から五字以内で書き抜きなさい。

5

問3　その案　とは、どのような案ですか。次の文に合せて空欄に九字以内で入れなさい。

明日の劇の練習で、主役がセリフをスラスラと言えれば続投だが、できない場合は、

という案。